

まちの好きを見つけよう、まちの好きを語ろう

本庄の魅力を探る

「あなたのまちの魅力は何ですか？」と改めて問われると、すぐには答えられないことも多いのではないのでしょうか。普段の生活の中で、当たり前前に存在しているからこそ、見逃してしまいがちな自分のまちの魅力。

今月号から連載でお届けする「ホンモノガタリ」では、本庄のもの（＝魅力、資源）を本庄に関わる人に語ってもらい、見逃しがちな本庄の魅力を掘り起こしていきます。

第1回目は、市内在住のデザイナー蓮良一さん。蓮さんは、長瀬町にある株式会社コアで数多くの県内自治体の広報物を手掛けています。そこで、さまざまな地域や人に出会ってきたからこそ改めて感じる本庄の魅力をうかがいました。

ホンモノガタリ No. 1



蓮 良一 さん

日常に溶け込むときめきを探してみよう

「気候が良い、災害が少ない、交通の便が良いなど、生活の土台になるものがたくさんあって穏やかなところ」と本庄の魅力について語ってくれた蓮さん。穏やかな暮らしができる環境だからこそ、新しく刺激を作ることができる場所にもなると考える蓮さんは、「本庄は都心へのアクセスもよいので、出かけた時に得た情報を形にしやすい土地。地域のために新しいものを作り出す人々を応援すること本庄がよりよい方向にアップデート（更新）していくと思う」と話します。

また、仕事で市内へ移住した方に取材をした際、「地域活動に参加したことで、近所の方がたくさん助けてくれるようになった。温かい人が多いと感じた」という話を聞き、普段の何気ない近所付き合いもまちの魅力なのかもしれないと気がついたといいます。

「何も無いと言う人も、毎年お祭り前になるとそわそわしたり、お祭りのために美容院の予約をしたりする。日常に溶け込んでいるから見つけにくいけれど、実はときめいたりする気持ちには誰にでもある」と話す蓮さん。まちの魅力は特別なものばかりではなく、ときめきの中に隠されているのかもしれない。「まちの魅力と言うとハードルが高く感じるかもしれないけれど、自分の周りのものを『リスペクト』や『好き』という言葉で表現してみると語れる人は増えると思うんですね」。

あなたの見つけた本庄の好きを発信してみませんか

■Instagramで「#本庄すまいる」をつけて投稿

Instagramでハッシュタグ「#本庄すまいる」をつけて投稿してみましょう。

本庄市公式Instagramでも #本庄すまいるを発信中！▶



■街こい写真（こいフォト）へ投稿

市内で撮影した写真を市の広報媒体を通してたくさんの人と共有しませんか。

投稿方法 タイトルに「街こい写真」と明記し、本文に氏名（匿名・ニックネーム可）、写真タイトル、撮

影日、撮影場所、簡単な説明文を記入して画像とともにメール（kouhou@city.honjo.lg.jp）で投稿

掲載媒体 市ホームページ、市フェイスブック「てっ！ほんじょう」、その他市が情報提供するもの

【注意】個人や商店等を撮影する場合は投稿の承諾を得ようお願いします。

※詳しい内容・注意事項は右記から市ホームページをご覧ください。

★広報課 ☎ 25-1155



▲街こい写真

東京2020パラリンピック競技大会に向けて覚書を締結しました
5人制サッカー トルコ代表チームの事前キャンプ地に



▲トルコ共和国アンカラ市にて覚書を締結

本庄市と早稲田大学、トルコ視覚障害者スポーツ協会は、10月4日、トルコ共和国のアンカラ市にて、東京2020パラリンピックでの5人制サッカートルコ代表チームが本庄市で事前キャンプを行う覚書を締結しました。

本庄市は、盲目の国学者、塙保己一の生誕地であり、これまで障害者との「共生のまちづくり」を目指してきました。また、本庄市では弱視者による「ロービジョンフットサル」の日本代表チームの合宿を市民主導により支援してきたこともあり、5人制サッカーの事前キャンプ地誘致を目指してきました。

トルコ代表チーム

トルコ代表チームとは、今年3月に日本ブラインドサッカー協会主催の会合で初面談を行い、7月のチーム関係者による練習施設等の視察を経て覚書締結となりました。

なお、トルコ代表チームは、来夏頃開催の欧州予選を突破すると、東京2020パラリ

ンピック出場となりますが、これまで過去2回、連続出場している強豪国です。

川淵三郎キャプテンより

今回の覚書締結にあたり、日本サッカー協会の川淵三郎キャプテンは、「心からうれしく思います。いろいろなところでトルコとの交流が図られています」と期待を寄せていました。

今後に向けて

覚書には、トルコ代表チームの本庄市内での事前合宿実施や本庄市と早稲田大学による施設提供、トルコ代表チームと市民との交流などについて盛り込まれています。

今後本庄市では、トルコ代表チームと、事前キャンプ期間中だけでなく、人的・経済的・文化的な相互交流を図るホストタウンを目指します。日本選手と同様にトルコ代表チームをみなさんで応援しましょう。

★企画課 ☎ 25-1157



▲トルコ訪問をした様子が公営放送で報道された



▲在トルコ日本国大使館に展示された友好の絵



▲7月 トルコチーム関係者が来日し視察